

なかしゅんべつ

2009

1

No.372

謹賀新年





謹んで新年のお慶びを
申しあげます

皆様のご多幸とご健康と
心よりお祈り申し上げます

平成二十二年

代表理事組合長	竹田 國男
副組合長理事	小湊 保
専務理事	丹羽 善實
常務理事	佐藤 猛
理(総務経済委員長)事	兼松 幸裕
理(営農生産委員長)事	藤倉 紀夫
理事	望月 英彦
理事	奥山 秀幸
理事	中西 貴司
代表監事	南澤 三郎
監事	平井 真一
監事	西川 寛稔
	職員一同

中春別酪農対策協議会会長

望月 英彦 外会員一同

中春別農協青年部部长

猿谷 忠義 外会員一同

中春別農協女性部部长

青野 美幸 外会員一同

中春別農協良質生乳生産
推進委員会委員長

奥山 秀幸 外会員一同

中春別乳牛改良同志会会長

山田 博和 外会員一同

中春別乳牛検定組合組合長

竹田 國男 外組合員一同

中春別農協農業後継者
対策協議会会長

藤倉 紀夫 外会員一同

中春別農協年金友の会会長

渡邊 栄顕 外会員一同



中春別農業協同組合

代表理事組合長 竹田 國男

新年のごあいさつ

組合員の皆様、明けましておめでとうございます。ご家族お揃いで輝かしい新年を迎えられました事、謹んでお慶び申し上げます。

さて、昨年を省みますと春先からの低温や少雨が影響し、牧草生育の遅れが心配されましたが、その後の天候回復により地域差はあるものの全体としては質・量共に粗飼料の確保がされたと思っております。また、夏場の猛暑による生産乳量の下降も暑熱対策の努力により影響なく推移いたしましたし、繁殖の遅れなど最小限に抑える事が出来、皆様のご努力に敬意を表する次第であります。

酪農情勢につきましては、先行きが定まらぬ原油・飼料穀物の暴騰、WTO農業交渉やFTA・EPAの再開や進展と共に輸入畜産物との競合などの外的要因から来る酪農畜産への影響と不安に翻弄された一年であり、自助努力を超えた生産費の上昇による経営重圧は年末のクミカン精算の対応に苦慮するところでありました。

国内飲用乳の消費が下降線をたどる中、消費者に理解を求めながら国と乳業メーカー

ーと資材高騰対策を含め、異例の期中価格改定交渉を行って参りました。その結果として平成十九年末には乳業メーカーとの交渉で用途別加工乳・飲用乳価プール1kg当たり五円十銭の値上げとなり、平成二十年三月には加工原料乳補給金が一円引き上げられ、六月には飼料対策の補てん金増額分など、加工原料乳補給金が三十銭引き上げられ異例の期中改定が行われました。また、府県を中心とする飲用乳価交渉において1kgあたり十円上げで決定したことを踏まえて、北海道は、ホクレンが乳業メーカーとの用途別加工乳交渉についても、三月から四円の上りで決着を致しました。本年度諸乳価の値上げをトータルすると1kg当たり十一円程度が確保出来るものと思っております。

生乳生産については、飲用需要の減少が継続する一方でチーズ・液状乳製品等の乳製品需要が増加する事から、国内の生乳生産基盤を踏まえ北海道の目標数量は百三%が配分されました。これまでの北海道酪農基盤維持対策のタイプA・Bの選択は解消され総体的に拡大する事とし需要動向など

を加味して設定されました。

平成二十年度、全道の目標数量三百八十四万一千トンの確保は難しい状況と推測されておりますが、当地区の生産状況につきましては計画数量が「クリア」出来るものと期待致しており、目標達成に向けてのご努力をお願い致します。

平成十八年度から実施されている「酪農基盤維持対策」は減産型計画生産でしたが、これが見直され平成二十一年度からは「第七期生乳安定生産対策（北海道酪農生産体制強化対策）」として向う三年間、三%増の増産方向で決定致しました。生産乳量の計画は実質、自然体で搾れる方向かと思っておりますので引き続き、生産乳量の維持と増産をお願い致します。

中断されておりました「WTO農業交渉」はアメリカを中心とする極度の世界経済不安定の中、再度最終合意に向け動き出しました。上限関税の設定やセンシティブ品目の扱いなど、貿易自由化論議が活発化しております。我国の主張がどの様に組み込まれるのかが心配されるどころであります。これら情勢を踏まえて、引き続き農協と酪対が一体となり、今後を見据えた政策要請に努力しなければと

思っております。

農協事業の進捗状況につきましては計画に沿って推移しておりますが、重点項目に揚げております「営農指導・支援機能の充実強化」については、経営改善プロジェクトの着実な実践を含め、経営体質の強化を図るべく推進しております。増産環境が整い乳価は引き上げられたものの生産諸資材の高騰は今後も続く事が予測される事から経営の見直しが急務でありますので、輸入飼料への依存体質から脱却し今一度、草地型酪農の優位性を再考し、良質な自給粗飼料を確保する対策が必要と考えます。農協としても新たな地域農業振興計画を策定しながら取り組んでいかなければと考えております。また「農協経営の健全化に向けた財務基盤の強化」につきましては、平成二十一年から出資金の増額をお願いしておりますが厳しい情勢の中で、ご理解とご協力の程お願い申し上げます。

乳質向上対策の推進につきましては、「バルク乳自動温度記録計」の設置を含めた生産管理システムを構築し、良質乳生産への取り組み強化がされております。また、昨年四月より配乳変更のためホクレン別海中継クーラーレーションが閉鎖され、このことにより生乳検査サンプルの持ち込みな

ど、ご不便をおかけしておりますがご理解の程お願い申し上げます。

農協子会社の(有)マシンセンター、(有)ジェイエー・ワンブにつきましては組合員の皆様のご支援に感謝申し上げますと共に引き続きご利用の程お願い申し上げます。

結びになりますが、激動する酪農情勢の中、「組合員の営農と生活を守る」組合員の組織として、JA北海道大会の決議である「変革の波を乗り越える活力あるJAづくり」そして、「活気と潤いに満ちたゆとりある中春別」の振興を目指して、役員一体となつて取り組んで参りますので、組合員の皆様の絶大なるご理解をお願い申し上げますと共に、本年は災害がなく、家族共々、豊穣の秋を迎えることが出来ます様心からご祈念申し上げます。





北海道農業協同組合中央会

会長 飛田 稔章

新年にあたり

平成二十一年の輝かしい新年をご家族の皆様とともに迎えられたことを心からお慶び申し上げます。

顧みれば、昨年の北海道農業は、春先に一部地域で降雹等被害がありました。米の作況指数百六をはじめ、畑作物も総じて良好な年でありました。生乳生産も前年度を上回るなど生産者の皆様方の努力が結実した年でありました。これも偏に農家の皆様方のご努力の賜物と深く敬意を表する次第であります。

経済動向では原油価格などが乱高下し、米国発の金融不況が世界経済を大混乱に陥れるなど過去に記憶のないほどの一年でありました。

私ども農業界も世界経済の影響を被り、農繁期における肥料・燃油価格の高騰、そして、配合飼料の高騰は農業経営に深刻な打撃を受けるなど激動の一年となりました。

また一方では、世界規模での食料不足問題が取上げられ、一部の発展途上国では暴動が起き、我が国においても国内における

食料自給率の向上への国民意識の高まり、中国からの輸入食品の農薬混入問題、事故米の問題など食の安全が問われた年でもありました。

こうした中で、J Aグループ北海道は、本道の経済界をはじめ道民とともにW T O 農業交渉に対する要請を実施するとともに、肥料・燃油、配合飼料高騰に対する支援対策を要求し、政策実現を果たしたところでもあります。この政策によって、全道の農家経済の危機的な状況が回復されることが期待されますが、深刻な打撃によって、脆弱となった生産基盤を回復するためには、長期的な農業政策の確立が求められており、今後ともJ Aグループ北海道の総力を挙げて一層の努力・尽力することを肝に銘じているところであります。

本年は、昨年からJ Aグループ北海道が提供しているテレビ番組「森崎博之のあくぐり王国北海道」をはじめメディアを積極的に活用して、農業の現場から食卓へ情報を発信し、今後とも、安全・安心な農畜産物

の供給を通じて、消費者の皆さんから信頼され、選ばれ、そして北海道農業を応援して頂けるような取組みを展開してまいります。

次にJA経営であります。JA合併事業については、推進重点ケースに対する最終推進年となっております。これらのケース実現に向けた取組みを推進することとしております。JAが組合員の期待に応え、そして地域で信頼され、貢献できる存在となるために経営の健全性の確保に向けた諸対策に取り組んでいきます。

さらに、JAグループ北海道全体のコスト低減に向けて、連合会の子会社をはじめ農業関連団体の組織整備・機能強化に積極的に取り組む所存であります。

最後に、米国発の金融不況による世界経済の低成長や、WTO農業交渉等国際化の波が、私ども農業界にも本年大きな影響を与えることが懸念されます。今こそ、全道の農家組合員の皆さんをはじめ

役職員が『一人は万人のために、万人は一人のために』という協同組合の理念をより所にして、JAへの結集を強め、協同運動を強力に展開してこの苦境を打開することが必要であります。

本年も災害がなく豊穡の出来秋を迎えることができそうですよう心から祈念申し上げます、新年のご挨拶といたします。





中春別酪農対策協議会会長 望月 英彦

牛乳は大地から生まれた 安心・安全な食料です

新年、あけましておめでとうございます。

会員ご家族そろって、健やかに新年をお迎えのことと謹んでお慶び申し上げます。

さて、昨年を顧みますと、激変と戸惑いの一年間だったと思います。

特に、我々酪農家にとりましてはトウモロコシなど、穀物と原油の高騰が経営を脅かし、春から食糧危機とインフレがさげばれました。

中国開催のオリンピックが終了と同時に、世界経済が落ち着く予想をしておりますが、アメリカ発の金融危機による株安が世界を走り、二気に世界経済は不況に入つて行つてしまいました。

その中で酪農情勢は、二月に補給金の値上げ、三月にはメーカー取引のプール乳価の値上げ、秋には補給金制度が始まって以来の期中見直し、値上げが行われました。

また、八月には全道で緊急危機突破大会が行われ、秋に

は乳業メーカーに対し乳価再値上げ要求をし、時期的に年内間に合わず、残念な結果になってしまいました。が、よくよく考えてみますと、結果的に要求は昨年全て満額回答であった実りの多い年ではなかったのではないのでしょうか。

これもひとえに、我々の組織であるホクレンの二元集荷、多元販売方式を最大限に活かした運動の成果と考えております。

今春には、消費者価格など、特に乳製品の値上げが予想される中、経済の落ち込み、消費の動向が不安視されませんが、安全で安心、そして安定的な供給を酪農家自ら誇りに持ち、消費者の皆さんにそのことを訴えることにより、必ず道は開けると確信しております。

あらためて、当酪対活動を顧みますと、中司道議の取り組み計らいにより、恒例となりました道農政部との意見

交換、ホクレンとの情報交換、十二月には農林省畜産部と意見交換を行い、精神的に活動を展開してまいりました。

また、配乳変更により、ミルクローリー車の導入と同時に、当地区のキャッチフレーズ「ぐつとミルクを!!」の新バージョンステッカーを作成し、消費拡大運動の一環として会員各戸に配布させていただきました。が、今後、様々な形で活用して参りたいと考えております。

我々根釧の酪農家は、大地があり、大地から草ができ、その草を牛が食べ、牛乳になります。牛乳は大地から生まれた、大切な食料です。

それを国民の皆様が安定供給するという使命感を考えたとき、明るい未来があると信じております。

会員各位の皆様が本年を通して、笑顔で働けることを願い、年頭のご挨拶とさせていただきます。



中春別農協青年部
部長 猿谷 忠義

新年明けましておめでとうございます。ご家族皆様おそろいで輝かしい新年の幕開けをお迎えのこととお慶び申し上げます。また、日頃より青年部活動において農協、各関係機関の皆様におかれましては、多大なるご理解ご協力を賜り誠にありがとうございます。



中春別農協女性部
部長 青野 美幸

明けましておめでとうございます。ご家族おそろいで輝かしい新春をお迎えの事と謹んでお慶び申し上げます。日頃より女性部活動に對しまして、部員の皆様をはじめ、農協、各関係機関の皆様のご理解とご協力を賜り、厚

牛歩の如く一步、前に進む年でありたい

ございます。

さて、昨年を振り返りますと燃料、飼料等の生産資材高騰が、まだ生産調整下の減産ダメージが残る我々生産者に追い討ちをかけるとう、非常に厳しい一年でありました。

また、国内外に問わず食品の事故、偽装問題が起り、日本の食料自給率の低さ、輸入食品依存ゆえの危うさが露呈し、今後益々、我々生産者の安全、安心な食品供給に對する責任が試されるので

はないでしょうか。来年度から乳価も上がり、飼料なども値上がり傾向ですが、世界的な金融危機の影響で消費が減退傾向とう不安もあります。

青年部としては今後も、部員個々の声、意見を束ね、手を取り合い今後の経営力維持、強化のため元気に活動していきたいと思っております。

今年が丑年ですが、新年最初に私が一番言いたいことは、「二ワトリを殺すな！」？

これは、一つの標語です。二ワトリは弱った個体の傷口

を皆で突き、殺してしまえば、ミスした人間を皆で責め、責任を追及する会議を意味します。こういう会議をしていると、組織のメンバーは失敗を恐れチャレンジをやめ、前例に無いことはしなくなり、組織は発展しなくなり、二ワトリを殺すな！とは、

失敗を責めるより失敗した原因を皆で前向きに検討し、成功するためにはどうした

生産者自ら「地産地消」をアピール

くお礼申し上げます。

何も心配せず暮らしていく事が難しい世の中になってきました。百年に一度の世界恐慌とまで言われ、厳しいムードの平成二十年でした。世界的な経済不安、輸入食品や産地偽装問題など食品に關する不安が広がり、乳価の大幅な値上げはあつたものの平成二十一年度上期の輸入チーズ大幅安で、北海道の入荷に影響があるのではないかと

の心配があります。そんな中であつても、前をきちんと向いて日々の暮らしを続けて行きたいと願うばかりです。新年を迎え良い方向になる様に期待したいと思ひます。

私たち女性部の活動は、

自分達の住むこの地域にしか出来ない活動をしていくと、年代別の三層活動に取組みながら、それぞれの得意分野を活かした「趣味の会」「園芸グループ」「スポーツグループ」のグループ活動を展

開しています。

また、牛乳、牛肉消費拡大講習会や料理レシピの紹介をしたりと「地産地消」の観点からも生産者自ら積極的にアピールしていきたいと勉強しています。

管内の動きでは、根室地区女性協会、JA道東あさひの誕生に伴い、八JAから五JAと構成が変わります。

昨年は地区内で、数組の新しいカップルが誕生し、地域としても大変嬉しい限りです。

ら良いか考える会議をしよう、という意味です。今後も厳しい酪農情勢が予想されるからこそ、会議以外においても青年部部員、組合員、農協職員間においても、「二ワトリを殺すな！」です。

青年部は今後も活発に活動し、農協、酪対、女性部、同志会、他組織と一層連携を深め、力を蓄えるだけでなく、一步一步牛歩の如く、前に進む年でありたいと思っております。



そして、今年が丑年です。仲間が増えてJA中春別も益々躍進し、併せて私達女性部もより一層活発な組織活動を展開してまいりますので、本年もどうぞ宜しくお願い致します。



地域一体でさらなる団結を

中春別乳牛改良同志会会長 山田 博和

二〇〇九年、初春を迎えるにあたり、日頃よりご支援とご協力を頂いております皆様へ謹んでお慶びを申し上げます。

また、当同志会事業運営につきましてには農協をはじめ、関係諸機関、各企業、そして、会員の皆様のご理解とご協力をいただき、役員一同心より感謝とお礼を申し上げます。

昨年の取り組みと致しまして、会員・組合員の方々の見聞を広め乳牛改良の研鑽を図るための「牧場視察研修」また、種雄牛の理解を深める事を目的とした「女性による視察研修」や各機関のご協力を得ての「酪農講習会」、J A 共進会後の「審査員との懇親会」や各共進会への参加協力を致しました。また、新たな事業と致しまして、当地区内における乳牛改良技術などの研鑽と向上を目的とした「地区内交流視察」を開催致しました。管内協議会では、「根室管内バーンミーティング」への参加。町協議会では、酪農家を講師に招いた「酪農講習会」の開催など会員他、皆様のご参加を頂きながら無事取り進めて参りました。当同志会も創立三十二年目を迎え、皆様のご協力に対しまして感謝の心でいっぱいでありませ

ず。昨年、飼料穀物の高騰、肥料、燃料価格の暴騰により厳しい情勢の中でありましたが、しかし北

海道酪農基盤維持対策の選択は解除され、生乳生産においては増産方向という中で、チーズや乳製品需要が増加するものと考えられ、目標数値を見直し、確保しなければなりません。

乳価においても引き上げられる方向であり、これからの動向が気がかりな部分であります。しかし、資材価格の高騰や金融不安定における影響は我々酪農家にとつてかなりのダメージをもたらすことは間違いなく、今後も苦しい情勢が続く事が予測されま

すので、今一度、この地域を生かした草地型酪農を見直し、良質な粗飼料を確保する事が大切であり、牛群の管理技術の見直しについても考えて行かなければなりません。

今日この中春別という地で酪農を営んで行ける環境を作っていただいた先代、諸先輩の方々が幾多の苦難と荒波を乗り越えられてこられてきた事を心に刻み、地域全体の更なる団結を取りながら、今後の酪農経営に取り組んで行かなければならないという使命感を覚えるところでありませ

ず。本年も組合員の皆様方のご理解を節にお願い申し上げます。また、ご健勝とご多幸を御祈りいたしまして年頭のご挨拶とさせていただきます。

平成20年 新規エクセレント獲得牛

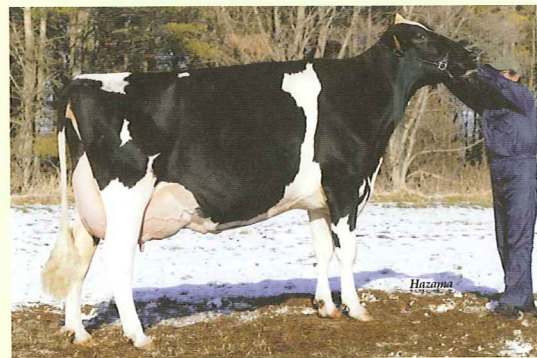
累計173頭

90点



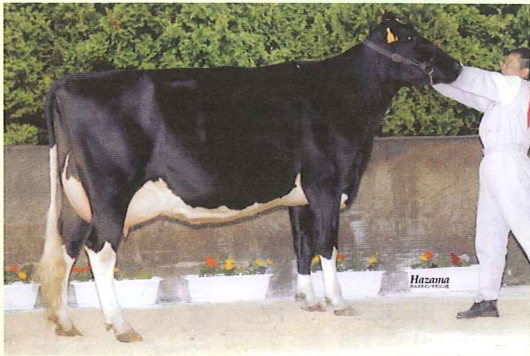
YMD ホワイト ルシファー サリー H14.9.19生
3-8 305 M9,591 F4.1% P3.6%
父:デコール スターバツク ルシファー 山田 博和所有
母:YMD ホワイト ミツクス ミステイ 84点

90点
3代EX



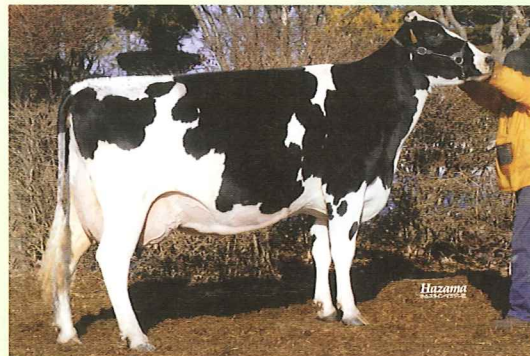
YMD ユリアナ チャンピオン チエルシー H16.2.24生
3-5 299 M9,360 F3.8% P3.2%
父:ガルレットアイ HH チャンピオン ET
母:YMD ユリアナ ラビツシュ チエルシー 90点 山田 博和所有
祖母:YMD ユリアナ ダニエル ジェシカ 91点

90点



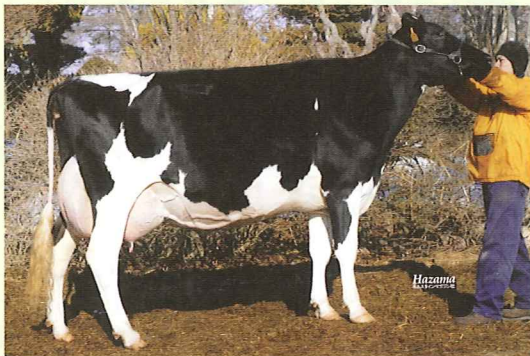
アビリティファーム ナイト トライアースH14.5.8生
3-8 305 M10,231 F3.5% P3.2%
父:レーガンクレスト エルトン テイライト ET 橋本 幸二所有
母:アビリティファーム ナイト トライデイ 88点

90点
2代EX



ライブリー デコール アーロンH12.5.12生
2-11 305 M11,466 F3.6% P3.2%
父:デイクシーリー アーロン ET 山田 光男所有
母:ライブリー デコール クリエーション ジブ 90点

90点



ライブリー リンデイ デコール マンハツタンH15.11.30生
3-1 305 M9,821 F4.0% P3.1%
父:ミスター マンハツタン ET 山田 光男所有
母:ライブリー デコール スターダム リンデイ 89点

90点



ライブリー ローリー コレット ET H14.9.2生
5-1 291 M10,054 F3.7% P3.1%
父:コムスター リー ET 山田 光男所有
母:エルムビュー アスター カレット

90点



ライブリー チュンキー サスピション ロイレーンH15.9.23生
03-01 305 M9,388 F3.5% P3.2%
父:ロイレーン ジョーダン ET 山田 光男所有
母:ライブリー チュンキー スターダム サスピション 85点

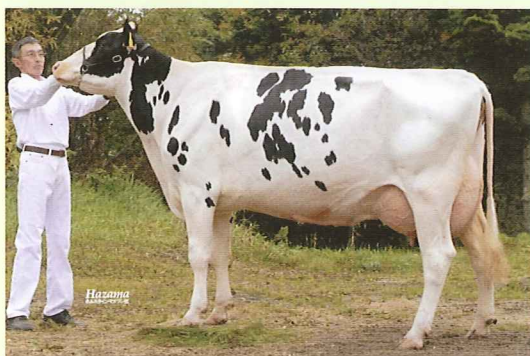
姉妹EX



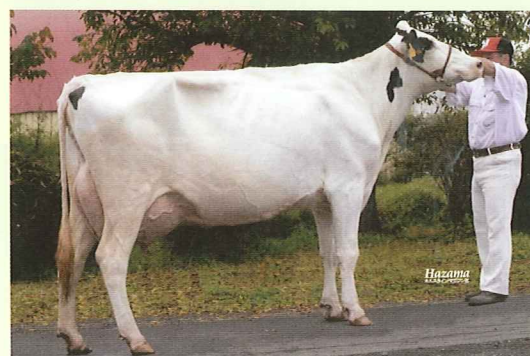
ライブリー チュンキー サスピション エマH13.8.23生
04-09 305 M12,453 F3.8% P3.2%
父:ライスクレスト エマーソン ET 山田 光男所有
母:ライブリー チュンキー スターダム サスピション 85点

90点

90点



ファインビュー メニュー サベージ リーダーH15.7.27生
03-11 293 M9,744 F3.7% P3.2%
父:コムスター リーダーET 畠山 吉男所有
母:メニュー ルーテル サベージ 87点



プレザント ラツキー デコール ローズ クイーンH16.2.24生
03-02 300 M9,696 F3.7% P3.2%
父:コムスター エルヒーローズ ET 中西 貴司所有
母:プレザント ラツキー デコール クイーン 85点

90点

未来に伝える 農業であるために

根室地区JA青年部大会



去る十一月七日、中標津町ウエディングプラザ寿宴において管内各地区の盟友が集い根室地区JA青年部大会が開催されました。

当日は、各地区盟友が集い会場を埋める中、「CH A

LENGE」未来に伝える農業であるために」をテーマに開催されました。

中村文昭氏を講師に招き講演が行われました。「縁」と題された講演では、様々な人との出会いを通じ感じたことなど実体験を例に上げ講演が行われました。

昼食を挟み行われた分科会では、各テーマに別れ日ごろ感じている事や実体験を通じ幅広く意見交換をするとともに今後の営農、青年部活動へ繋がる有意義な時間となったことと思います。

毎年、大会内で開催されている青年の主張大会では、当青年部より美原地区の長沼徹さんが出場し、自身の酪農に対する思いや日頃感じている事などが主張され見事、最優秀賞に輝き全道大会への切符を手にされました。

アームレスリング大会では、豊原地区の伊藤孝彦さんが出場し見事一回戦を突破するものの、惜しくも二回戦敗退となってしまいました。

参加された部員の皆さんお疲れ様でした。

全道各地から盟友が集う 青年部全道大会

去る十二月四日、五日の日程で、青年部全道大会が札幌パークホテルで開催されました。当青年部からは、四人の部員が参加しました。

大会では、約六百人の青年部盟友が全道各地より集い会場を埋めました。

開会式終了後には、「青年の主張大会」「青年部活動実績発表大会」「分科会」が行われました。

「青年の主張大会」では、



テーマに沿っての活発な意見交換や情報交換が行われました。

二日目は、元プロ野球選手で野球解説や各メディアで活躍している岩本勉氏を講師に招き講演が行われました。講演の中では、現役時



当青年部の長沼徹さんが十一月に行われた管内大会において行われた予選会の中で、最優秀賞を獲得し「青年の主張大会」に出場しました。全道各地の代表者が迫力ある主張をする中、長沼さんも負けず劣らずに大勢の参加者を前に堂々と自分の思いを主張しておりました。

「青年部活動実績発表会」では、各地区青年部の活動が紹介されました。日頃の取り組みや、地域の特産品や地域性などを存分に活かした活動が紹介され真剣な眼差しで聞く参加者は、今後の活動の参考になったことと思えます。

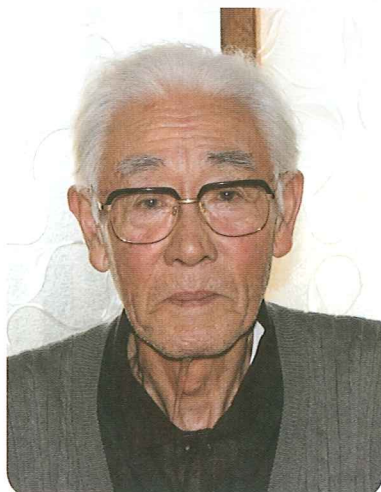
また、各テーマに分かれての分科会では、

代のエピソードや引退後の様々な仕事や今後の目標など時には、身振り手振りを交えながらユーモアたっぷりに語られており会場は、笑い声で溢れておりました。二日間と短い日程でしたが、各地区の盟友と親交を深めるとともに意見、情報交換と充実した二日間となりました。

参加された部員の皆さんお疲れ様でした。

スポーツに釣り、 まだまだ現役です！

【豊原地区】



【中春別地区】



- ① 和泉 一雄
- ② 大正十四年一月十日
- ③ パークゴルフ
- ④ 健康に気をつけて孫の成長を見守ること

- ① 大内ミサエ
- ② 大正十四年四月二十四日
- ③ 花をいじること
- ④ 健康に気をつけて元気に過すこと

組合員さんのご家族で、今年の干支・丑年生まれの年男、年女、大正十四年生まれの方をご紹介します。皆さんお元気で、毎日を楽しみながら過されています。

- ① 名前
- ② 生年月日
- ③ 趣味
- ④ 今年の抱負



- ① 森田 真治
- ② 大正十四年九月二十三日
- ③ 釣り
- ④ 健康に気をつけて釣りに行くこと

- ① 森田キヌエ
- ② 大正十四年八月十八日
- ③ 特になし
- ④ 元気に過すこと

- ① 平林 尋子
- ② 大正十四年六月二日



ホルスタイン写真コンテスト結果発表

乳牛改良同志会（山田博和会長）主催で行われた第20回写真コンテスト予想投票20人の応募がありました。

序列付けを中春別地区の佐々木靖裕さんにお願ひし、正解は、F→A→B→E→D→Cとなりました。

全問正解は、千葉達也さん、畠山友子さん、工藤智紀さん、今井柚月さんの4人でした。その他、抽選の結果、竹田真由美さん、竹田涼さん、小田島悠さん、山田正子さん、畠山吉男さん、畠山優花さん、長谷川京子さん、成田亮さん、大石昭彦さん、細川由美子さん、細川優作さん、妻沼紘聖さん、妻沼和紘さん、藤倉香津靖さん、今瀧くららさん、田中康彦さんに賞品を贈呈いたしますので畜産販売課畜産指導係までおこし下さい

講評

4歳クラス、6頭の審査を行い以下の様に序列を決定いたしました。

序列は、F→A→B→E→D→Cとさせていただきます。トップのF牛ですが、この6頭の中でもっともバランスの良い体と乳房であると思います。特に乳房におきましては、2番目のA牛と比較した場合、後乳房の幅、

前乳房の付着、乳頭の方向においてより勝っていると判断させていただきました。ベストアダーもF牛とさせていただきます。

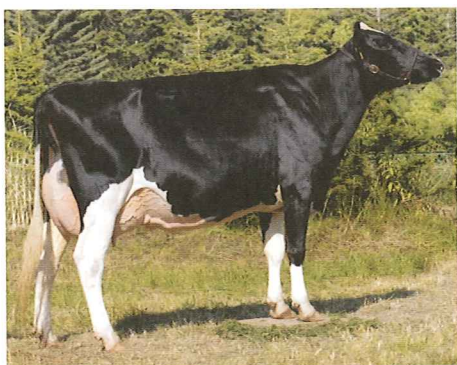
次に、A牛とB牛の比較です。あきらかにA牛の方が骨格構造上でより勝っていると判断いたしました。B牛とE牛ですが、体のバランス、蹄においてE牛より勝っていると判断いたします。

E牛とD牛であります。E牛の方が乳房の形状において上だと判断させていただきます。

D牛とC牛ですが、D牛の方が力強く、より品位ある顔をしているとはんだんしまして、この6頭の序列とさせていただきます。

今回、このような写真コンテストの審査をさせていただいて誠にありがとうございました。審査も悩み、苦労もしましたが、今回はこの順番にさせていただきました。皆さんが、納得いく講評だったか本当に不安ではありますが、今回このような経験ができたことに感謝いたします。大変ありがとうございました。

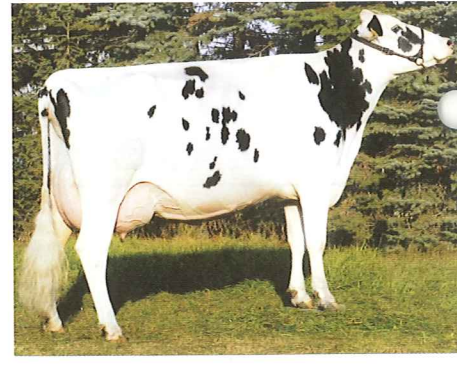
F



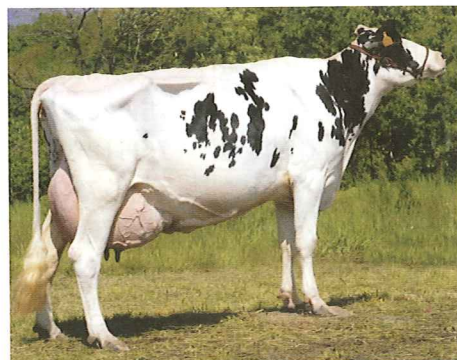
A



B



E



D



C



子供達から大人へ

今年も国王から クリスマスプレゼント

ミルク王国

別海町ミルク王国(国王・佐々木茂成氏)では、今年も町内十七カ所の保育園、幼稚園を訪れ子ども達に一足早いクリスマスプレゼントを贈りました。

別海町ミルク王国(国王・佐々木茂成氏)では、今年も町内十七カ所の保育園、幼稚園を訪れ子ども達に一足早いクリスマスプレゼントを贈りました。

国王の登場を待つ子ども達は、どことなく落ち着かない様子で国王の登場をワクワクしながら待っており国王の登場と同時に拍手と歓声が子供達から上がり子ども達がどれほど楽しみに



していたかが伺うことができました。

元氣一杯大きな声で、挨拶する子ども達に国王からは、何か質問があり質問にも子供達は元氣一杯に答えました。その後は、子

ども達からも国王へ「好きな車はなんですか」「好きな飲物は」などの質問が飛び交いました。

質問後は、いよいよプレゼントタイム、待ちにまつた子ども達は一列に並びプレゼントを受取り満面の笑みを浮かべておりとても嬉しそうでした。

11月 乳質乳価一覧表

(単位:円/kg)

		単価	算出基礎	支払乳	前年同期	差	
乳脂肪分		731.392		30.12	27.50	2.62	
無脂乳固形分		464.614		40.90	37.12	3.78	
補給金		4.2387		4.24	4.00	0.24	
計画チーズ奨励金							
乳質単価	生菌数	ランク1	2	295,667,474.1kg	3.77	3.75	0.02
		ランク2	0	4,547,007.3kg			
		ランク3	-3	153,280.2kg			
	体細胞数	ランク1	1	263,617,696.0kg			
		ランク2	0	20,068,540.2kg			
		ランク1	1	3,142,346.0kg			
特別対策		ランク2	-2				
合計				79.03	72.37	6.66	

11月分乳代支払単価

項目	単価(円)/kg%	
乳脂肪分①	30円12銭	
無脂乳固形分②	40円90銭	
補給金③	4円24銭	
チーズ奨励金④		
脂肪率	全道	4.12%
	農協	4.13%
無脂固形分率	全道	8.80%
	農協	8.75%
成分乳価	全道	75円26銭
①+②+③+④=⑤	農協	75円12銭
乳質乳価⑥	全道	3円77銭
	農協	3円79銭
乳代合計	全道	79円03銭
	農協	78円91銭
⑤+⑥	差異	-12銭

謹賀新年

旧年中は格別のお引き立てを賜り厚くお礼申し上げます。
本年も倍旧のご愛顧の程お願い申し上げます。

2009年 元旦

- 自動車の点検・整備・検査・農機具の修理
- 自動車・農機具の販売<北海道陸運局指定整備工場>



有限
会社

中春別マシンセンター

代表取締役 竹田 國男

別海町中春別南町3番地 TEL(0153)76-2117・FAX(0153)76-2278

謹賀新年

旧年中は格別のお引き立てを賜り厚くお礼申し上げます。
本年も倍旧のご愛顧の程お願い申し上げます。

2009年 元旦

- 支援農作業の一切

WAMP (有)ジェイエー・ワンブ

代表取締役 竹田 國男

別海町中春別南町3番地 TEL・FAX(0153)76-2861

謹賀新年

旧年中は格別のお引き立てを賜り厚くお礼申し上げます。
本年も倍旧のご愛顧の程お願い申し上げます。

2009年 元旦



訪問介護ステーション「あさひな」

別海町中春別南町3番地 中春別農業協同組合2階
TEL・FAX(0153)76-3383



凧

凧を「タコ」と呼ぶのは関東方言で、関西方言では「イカ」と呼ばれ、18世紀後半の方言集『物類称呼(ぶつるいしょうこ)』には、「イカノボリ」の例も見られます。凧が、「タコ」や「イカ」と呼ばれ始めた由来は不明ですが、紙の尾を垂らして揚がる姿が、「蛸(タコ)や「烏賊(イカ)」に似ていることから名付けられたと考えられます。

中国では漢代から「紙鳶(しえん)」として用いられており、平安時代初めに日本に伝来しました。子供の誕生と豊作を祝って揚げたのが始まりといわれております。

編集後記

組合員の皆様・ご家族の皆様、新年明けましておめでとうございます。

ご家族一同お揃いの中で、新年を迎えられましたことを心よりお慶び申し上げます。

昨年は、組合だより「なかしゅんべつ」をご愛読頂き誠にありがとうございました。また、多大なるご支援、ご協力をいただき誠にありがとうございました。本年も地域に密着した話題を中心とした誌面作りを目指して行きたいと思っておりますので、昨年に引き続きご支援、ご協力の程、よろしくお願い申し上げます。

お正月は、皆さんお揃いで賑やかに過ごされていることと思います。新たな年のスタートに向け、それぞれ目標など立てられたことと思います。本年が皆様にとつて輝かしい年になる事をお祈り申し上げます。

さて、昨年の暮れよりテレビや新聞紙面をみておきますと、全国的にインフルエンザが例年より早く流行の兆しを見せています。子供から大人へと感染が拡大しているそうなので、皆さんご注意ください。十分な休養と栄養補給をし、体調の管理には十分ご留意下さい。

本年も組合だより「なかしゅんべつ」をよろしく願っています。